



福祉バンク大館の事務所で話を伺う堀場リポーター。



大館地区の3箇所を会場に孫子老サービスが行われています。
(会場の北生協常盤本店で)



家事援助などのボランティアを受ける際に使用している利用券



孫子老サービスは介護保険のサービスが必要とならないよう、健康を維持しながら元気に過ごすことも目的としています。

また、ボランティア活動を始める条件として挙げられているのは「自分ができる内容のものが見つければ」が七一・二%「時間ができれば」が六五・二%です。以下「活動したいと思う場、地理的な面で自分の希望と一致すれば」「ボランティア活動を体験する機会があれば」が続いており、最初の一步がなかなか踏み出せない状況が分かります。

一方、今までボランティア活動をやったことがなく今後する予定がない人に、ボランティア活動をしない理由を聞いてみると「時間が無い」が断然トップ、次いで「自分がボランティアとして何ができるか分からない」「どのように参加し行動したらよいかわからない」が続きます。このほか「ボランティア活動には特別な知識・技術が必要と思う」「一緒に行動してくれる仲間がいない」など、何をしたらよいのか分からないという戸惑いが多くみられ、情報不足が一因になっているようです。

これらをまとめてみると

- ① 活動する時間の制約
- ② 活動に関する情報不足
- ③ ボランティア団体に参加する際の心理的障壁

といった問題が、ボランティア活動を容易に実現できない背景にあると思われる。

今年こそボランティア活動を始めてみよう！

イギリスには「紳士は自ら行う、そうでない人はやらされる」という言葉があります。ボランティア活動はあくまでも自発的、自主的に行うものであり、やらされるものではありません。自分のペースに合わせて、長く続けられることも大切です。

このため、ボランティア活動のことは自分にとって好きなことを行うことです。自分の趣味や経験を生かした活動なら楽しいし、積極的になれると思います。これなら、活動に関する時間的な制約は感じないはずだし、情報不足ということもあり得ないし、同じ趣味や経験をした人同士なら心理的障壁も低いでしょう。そうした活動はたとえ少人数で始めても、やがてその活動に対する共鳴者が集まり広まっていくものだと思います。

今後、大館に第二、第三のNPO法人が続々と設立され、市民のボランティア活動が日常生活の一環になる日も近いかもしれません。ただ、その日を待つのではなく、自ら始めてみてはどうでしょうか。

福祉バンク大館 ☎49-3860
受付時間

毎週月～金曜日 9時～12時